

がん等検診業務(予算額 472,674千円)

保健部健康増進課
健康増進班(23 - 6639)

財源内訳	国庫支出金 3,993千円、県支出金 14,673千円、その他 65,059千円、一般財源 388,949千円
支出内訳	4款1項1目 保健衛生総務費 / 消耗品費 123千円、印刷製本費 767千円、通信運搬費 25,207千円、がん検診委託料 361,109千円、女性特有のがん検診委託料 4,521千円、肝炎ウイルス検診委託料 12,459千円、骨粗しょう症検診委託料 6,263千円、歯周疾患健診委託料 19,110千円、その他検診委託料 26,948千円、がん要精検者受診連絡委託料 2,132千円、検診通知書作成委託料 10,913千円、住民健康管理システム改修委託料 1,832千円、住民健康管理システム保守委託料 1,290千円

拡充

50歳・60歳の歯周疾患健診にオプション項目として口腔がん検診を追加

【口腔がんの現状】

口腔がんは、希少がんであるが発見の遅れにより「食べる」、「飲む」、「話す」、「呼吸する」などの口腔の機能が大きく妨げられ、「生活の質」が著しく低下する恐れがあること、治療後の生存率が低いことなどが問題となっている。

【事業の概要】

対象：市の歯周疾患健診を受診する50歳、60歳の節目年齢の人
周知：節目年齢の人に発送する歯周疾患健診の案内に併せて通知
内容：専門歯科医師が視診、触診、歯周疾患健診で撮影したレントゲン写真の再読影、保健指導

【期待される効果】

- ◆ 口腔がんの好発年齢にあたる年代の人に検診を行うことで、口腔がんの早期発見・早期治療を可能にする。
- ◆ 好発年齢にあたる人に対し、日常のセルフチェックや発症リスクの低減につながる啓発を行える。
- ◆ 口腔がん検診がオプション項目として追加されることで歯周疾患健診の魅力が増し、未受診者の掘り起しにつながる。
- ◆ 口腔ケア全般についての意識向上にもつながり、8020運動のさらなる推進や高齢者の介護予防にもつながる。



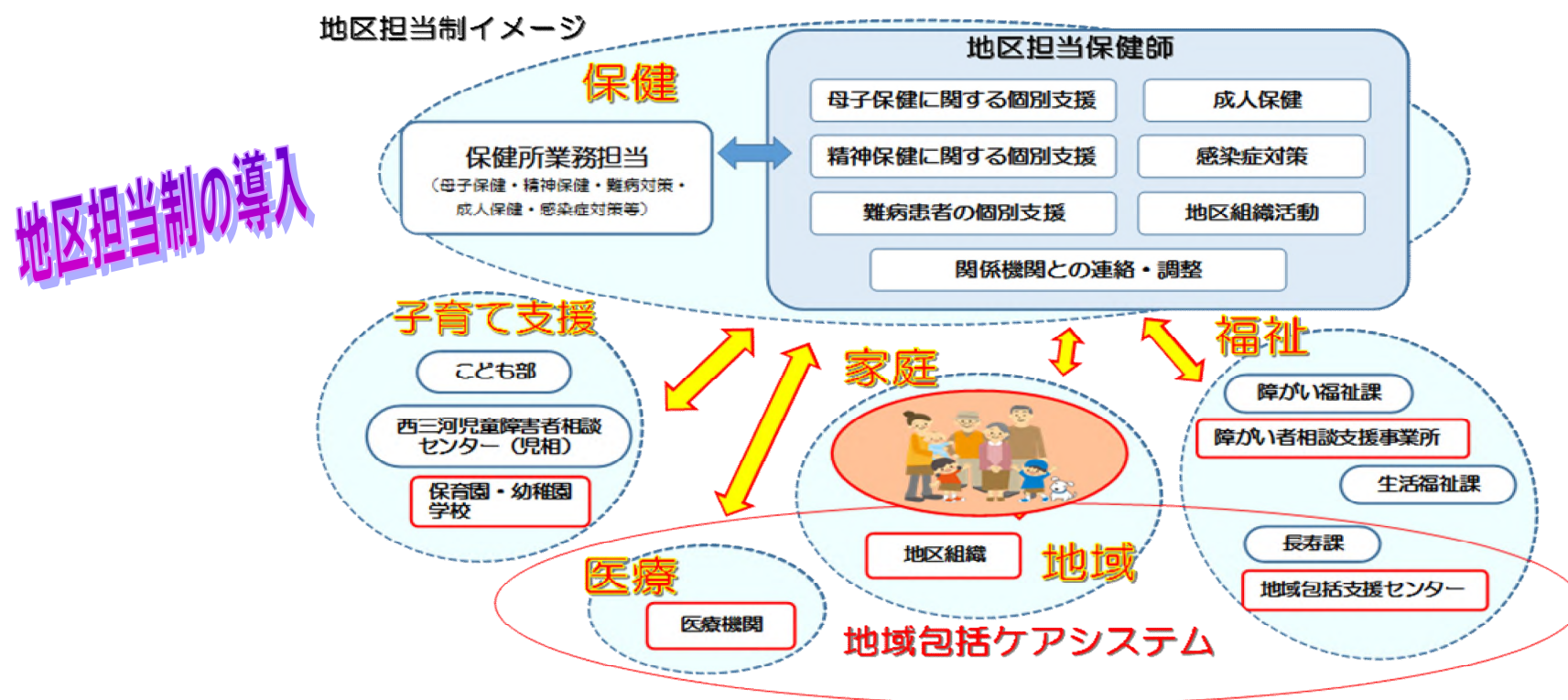
専門的な知識を持った歯科医師が治りにくい口内炎や進行した歯周病などとの鑑別を視診・触診で詳細に行います。



新規	地域保健活動推進業務 (予算額 4,259千円)	保健部健康増進課 母子保健1班(23 - 6084)
財源内訳	一般財源 4,259千円	
支出内訳	4款1項1目 保健衛生総務費 / 健康推進員報酬 1,420千円、講師等報償金 25千円、費用弁償 6千円、消耗品費 93千円、燃料費 121千円、自動車修繕料 18千円、自動車リサイクル手数料 16千円、自動車損害保険料 106千円、土地賃借料 126千円、自動車購入費 2,320千円、自動車重量税 8千円	

【事業概要】

保健師が家庭訪問や健康づくり活動を通じて地域に入り、個人の健康問題や地域の健康課題を総合的に捉え、地域特性に応じた活動をモデル地区において推進していきます。



拡充	自殺予防対策業務 〔予算額 9,578千円〕	保健部健康増進課 精神・難病班(23 - 6715)
新規	自殺対策計画策定業務 〔予算額 3,737千円〕	
財源内訳	自殺予防対策業務:県支出金 4,708千円、一般財源 4,870千円 自殺対策計画策定業務:県支出金 2,490千円、一般財源 1,247千円	
支出内訳	自殺予防対策業務:4款1項5目 保健所費 / 講師等報償金 551千円、費用弁償 18千円、特別旅費 86千円、消耗品費 406千円、食糧費 1千円、印刷製本費 221千円、自殺予防対策事業委託料 8,295千円 自殺対策計画策定業務:4款1項5目 保健所費 / 消耗品費 11千円、市民意識調査委託料 3,726千円	

拡充

《こころの健康電話相談》

こころホットライン

こころの悩みを抱えるかたの相談の増加に対応するため、午後5時15分から午後8時までの相談時間帯において、電話を1回線から**2回線に増設**します。

眠れてますか？

こころの悩み、
ひとりで抱えないで！

ご家族・ご友人も相談できます

岡崎市こころホットライン

0564-64-7830

(月～金 祝日・年末年始除く 午後1時～8時)



こころのストレスチェック

してみませんか？

岡崎市 こころ チェック

で

検索

新規

メンタルヘルスに関する市民意識調査

自殺対策基本法の改正に伴い、平成30年度の岡崎市自殺対策計画（仮称）策定に向けて、メンタルヘルスに関する市民意識調査を行います。

岡崎市自殺対策計画（仮称）策定スケジュール

H28

国：「自殺対策基本法」の改正

都道府県・市町村自殺対策計画策定を規定

県：現行「あいち自殺対策総合計画」の計画期間を1年延長

H29

国：自殺総合対策大綱の改正、計画策定ガイドラインの作成

県：次期「あいち自殺対策総合計画」策定

市：「メンタルヘルスに関する市民意識調査」の実施

H30～

県：次期「あいち自殺対策総合計画」（計画期間 H30～H34 予定）

市：「岡崎市自殺対策計画（仮称）」策定（計画期間 H30～H34 予定）

予防接種業務(予算額 1,327,383千円)		保健部生活衛生課 感染症対策班(23 - 6714)
財源内訳	県支出金 6,944千円、一般財源 1,320,439千円	
支出内訳	4款1項3目 予防対策費 / 委員報酬 30千円、費用弁償 2千円、特別旅費 55千円、消耗品費 467千円、印刷製本費 1,530千円、賠償補償保険料 736千円、 審査支払手数料 61千円、四種混合等予防接種委託料 203,060千円、ポリオ予防接種委託料 2,181千円、麻しん風しん予防接種委託料 85,259千円、 日本脳炎予防接種委託料 126,061千円、BCG予防接種委託料 33,559千円、子宮頸がん予防接種委託料 2,459千円、ヒブ予防接種委託料 151,942千円、 小児用肺炎球菌予防接種委託料 201,844千円、インフルエンザ予防接種委託料 220,169千円、高齢者肺炎球菌予防接種委託料 72,979千円、 水痘予防接種委託料 79,429千円、ロタ予防接種委託料 28,839千円、B型肝炎予防接種委託料 92,914千円、予防接種予診委託料 48千円、 通知書封入封緘委託料 3,617千円、住民健康管理システム保守委託料 1,173千円、住民健康管理システム改修委託料 2,879千円、 風しん予防対策事業費補助金 3,010千円、予防接種扶助費 3,793千円、予防接種健康被害者対策費 9,287千円	

定期予防接種

予防接種法に基づき自治体が実施。法により対象疾病、対象者および接種期間などが定められている。

A類疾病（主に集団の感染予防、重篤な疾患の予防）

ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ（四種混合等）、麻しん風しん、日本脳炎、結核（BCG）、
子宮頸がん、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、水痘、B型肝炎

B類疾病（主に個人の感染予防）

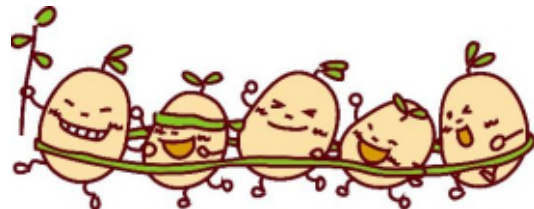
高齢者のインフルエンザ・肺炎球菌感染症



任意予防接種

予防接種法に基づかないもの。基本は全額自費により接種。
自治体によっては補助あり。

岡崎市で補助のあるもの：ロタ、高齢者の肺炎球菌（定期
接種対象者以外）



風しん予防対策事業

先天性風しん症候群の発生を防ぐために、風しんの抗体検査及び
予防接種費用の一部を助成。

予防接種健康被害者対策

予防接種法に基づく定期の予防接種による健康被害のうち、厚生労働
大臣が認めたものについて、医療費や年金等を給付。

動物愛護啓発業務 (予算額 2,740千円)		保健部動物総合センター 動物1班(27 - 0402)
財源内訳	国庫支出金 160千円、一般財源 2,580千円	
支出内訳	4款1項10目 動物総合センター費 / 講師等報償金 192千円、動物愛護ポスターコンクール賞賜金 5千円、特別旅費 21千円、消耗品費 454千円、食糧費 2千円、災害時緊急用飼料保管委託料 160千円、動物愛護普及啓発委託料 1,906千円	

【事業概要】

動物総合センターは平成29年度(平成30年3月29日)に設立10周年を迎えます。そこで、動物愛護の精神を幅広い世代に啓発し、動物総合センターが目指す「人と動物が共存できる豊かな地域環境」をつくるため、設立10周年の記念講演会などのイベントを開催いたします。

設立10周年記念講演会



あにも設立10周年を記念して動物愛護に造詣の深い著名人を特別講師として招き、記念講演会を開催します。

学校飼育動物の飼い方教室

岡崎市内の小学校を対象に、動物由来感染症の啓発及び実際に学校で飼育している動物の飼い方教室を開催します。



なかよし教室

岡崎市内の公立こども園・保育園の年長児が動物総合センターに訪れ、ぬいぐるみ又は犬を用いて仲良くなり方の体験をします。



いのちの教室

岡崎市内の小学校を対象に、奈良県が考案・作成したツール及びプログラムを用いて、動物を使わずに参加型の授業を実施します。



【病院事業】地域医療体制の充実〔予算額 1,384,549千円〕(人件費を除く。)		市民病院事務局総務課 経営管理班(66 - 7015)
財源内訳	一般会計負担金 129,339千円、企業債 552,000千円、国庫補助金 5,134千円、県補助金 309千円、自己財源 697,767千円	
支出内訳	病院事業会計(収益的支出) 1款1項6目 研究研修費/謝金 3,195千円、図書費 23,358千円、旅費 36,056千円、研修委託費 7,045千円、研究雑費 17,903千円 (資本的支出) 1款1項1目 建設改良費/委託料 38,332千円、工事請負費 690,110千円 1款1項2目 資産購入費/器械備品購入費 529,010千円 1款2項1目 長期貸付金/看護師等修学資金貸与金 39,540千円	

救命救急センターを有し、第3次救急医療を担う地域の中核病院としての医療水準の確保及び多様化高度化する医療ニーズに対応する機能の充実を図ります。また、施設の耐震化や設備の更新にも取り組みます。

医療機器の充実〔予算額 529,010千円〕

最新機器を導入し、市民に高度な医療を提供できる病院として、信頼に添えていきます。

- (1)検査用 超音波診断装置 始め 79 品目
- (2)手術用 手術用顕微鏡 始め 42 品目
- (3)その他 抗がん剤調製支援システム 始め 74 品目

施設の耐震強化〔予算額 178,360千円〕

平成28年度から2か年の継続事業で実施している市民病院の正面玄関エントランスホール等の天井耐震化工事を行い、市民病院の大規模空間天井施設の改修が完了します。

平成27年度から順次進めてきたエレベーターの耐震化は3基について行い、予定していた12基全ての耐震化が完了します。



施設や設備の更新〔予算額 550,082千円〕

平成10年度に移転新築して18年が経過し、更新時期を迎えた施設や設備を計画的に順次更新していきます。

平成29年度は、空調熱源改修、第3電気室更新、3階渡り廊下自動両開き折れ戸改修、西棟会議室災害用非常電源設置、北通路ブリッジ床改修、照明器具のLED化などの各工事を行うほか、非常用発電機設備更新設計、院内LAN更新設計、情報コンセントの増設などの各業務を行います。

医療スタッフの確保と育成

〔予算額 10,734,169千円〕

〔人件費 10,607,072千円、研究研修費87,557千円、修学資金貸与金 39,540千円〕

地域住民に高度な医療を提供するための最重要課題は、病院の経営基盤としての「医療スタッフの確保・育成」です。労働環境等の改善と病院自体のステータス向上を図り、人材を確保するとともに、研修・教育環境を整え、将来の地域医療を担う人材の育成に努めます。

- ・ 新専門医制度に対応したプログラムや指導体制を整えるとともに、合同説明会等により医学生に当院の魅力をアピールして優秀な初期研修医や後期研修医を獲得する。
- ・ 7対1看護体制を維持するため、看護学生への修学資金貸与制度を活用した看護師確保とワークライフバランスのとれた職場環境の実現により離職防止に努める。
- ・ 看護師の病棟での深夜勤務について4人体制を目指し、勤務環境の改善に努める。
- ・ 医療職の採用試験を病院独自で実施し、優秀な人材の確保に努める。
- ・ 臨床研修指定病院として、豊富な症例と熱意ある指導医のもと次世代の地域医療を担う医師の育成に励む。
- ・ 接遇や目的別の研修を計画的に実施していくほか、医療スタッフが幅広い医療知識等を習得・発表する学会や研修会等に参加させ、キャリア開発とスキルアップを図る。
- ・ 専門性の高い認定看護師等の育成・確保のため、必要な資格取得・維持について支援していく。
- ・ 医療系書籍、雑誌（Web版を含む）の充実を図り、最新医療情報の提供体制を整える。



介護予防・生活支援サービス業務〔予算額 425,018千円〕

福祉部介護サービス室
介護給付班(23 - 6682)

財源内訳 保険料 87,658千円、国庫支出金 106,253千円、支払基金交付金 119,004千円、県支出金 53,126千円、繰入金 58,977千円

支出内訳 介護保険特別会計 3款1項1目 介護予防・生活支援サービス事業費 / 介護予防・生活支援サービス事業費指定事業者負担金 381,264千円、
総合事業住民主体訪問型サービス事業費補助金 1,040千円、介護予防ケアマネジメント事業費負担金 42,714千円

制度変更

介護保険制度の改正により、これまで全国一律の基準で実施されていた要支援者対象の「介護予防訪問介護」と「介護予防通所介護」を岡崎市が実施する地域支援事業へ移行し、新しい総合事業として平成 29 年 4 月から開始します。

高齢者の増加に伴う介護ニーズに対応するため、従来の介護事業所によるサービスは維持しながら、新たに地域住民、ボランティア、NPO等の参画によるサービス展開を目指し、高齢者の社会参加や生きがいの創出を通じた予防の強化とサービスの多様化を図ります。



やりがい君

いきがいちゃん

おたがい様

新規	こども発達センター業務 (予算額 1,571,532千円) 一般会計4業務、特別会計1業務合算	福祉部こども発達センター準備室 企画整備班(23 - 6566)
財源内訳	一般会計(相談・支援・整備運営) 諸収入 39,917千円、市債 905,000千円、一般財源 586,083千円 こども発達医療センター特別会計(医療) 診療収入 30,436千円、使用料及び手数料 130千円、繰入金 7,568千円、諸収入 2,398千円	
支出内訳	一般会計(相談・支援・整備運営) 3款3項6目 こども発達センター費 / 委員報酬 120千円、講師等報償金 49千円、費用弁償 14千円、特別旅費 223千円、消耗品費 973千円、食糧費 4千円、庁用器具修繕料 100千円、通信運搬費 104千円、傷害保険料 79千円、通訳派遣手数料 48千円、託児業務委託料 429千円、こども発達支援委託料 42,418千円、療育の支援委託料 2,044千円、こども発達センター維持管理・運営委託料 83,962千円、廃棄物処理委託料 24千円、契約等支援委託料 2,862千円、施設購入費 1,371,501千円、職員研修負担金 62千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 25,984千円 こども発達医療センター特別会計(医療) 1款1項1目 一般管理費 / 費用弁償 408千円、通信運搬費 907千円、損害賠償責任保険料 112千円、通訳派遣手数料 60千円、代務医師負担金 12,688千円、画像閲覧システム負担金 78千円 2款1項1目 医薬費 / 消耗品費 1,161千円、医薬材料費 648千円、通信運搬費 12,424千円、廃棄物処理委託料 23千円、医療事務受付業務委託料 9,720千円、機器賃借料 2,303千円	

発達に心配のある子に対して発達に関する相談、医療及び療育を総合的に提供する施設
「岡崎市こども発達センター」が平成 29 年 4 月に供用を開始します



相談・医療・支援 各センターの概要

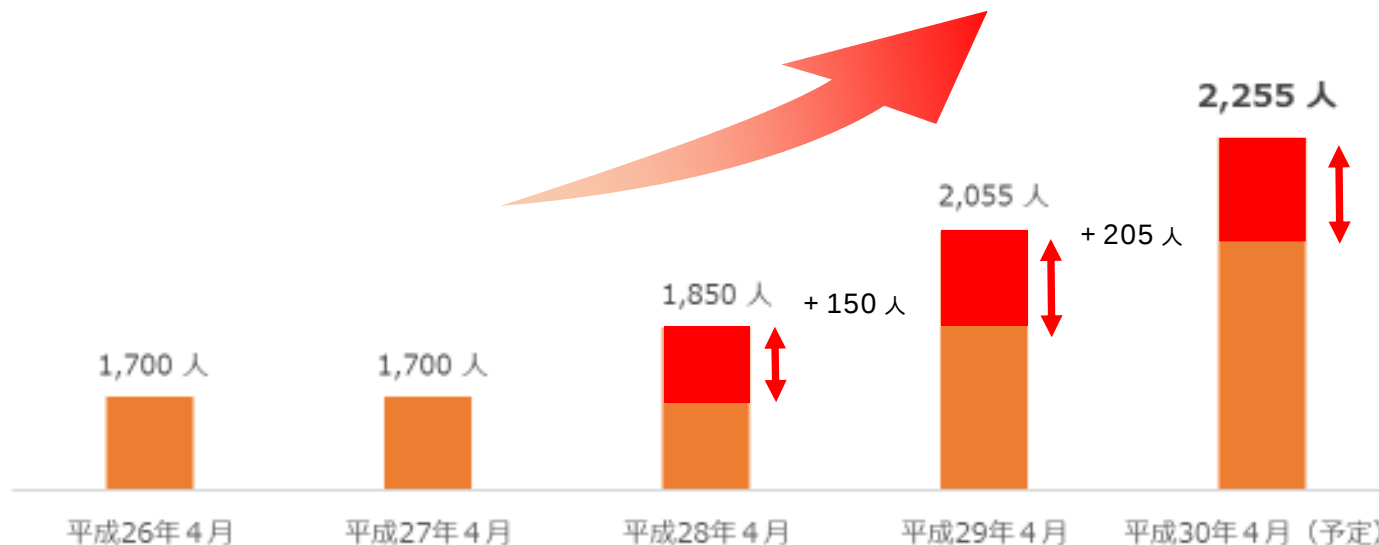
3 階	相談センター	相談にのります 専門相談・療育的支援事業
3 階	医療センター	診療を行います 診察・発達検査・リハビリ
2 階 1 階	支援センター	療育を提供します 親子通所・単独通所

放課後対策施設整備業務(予算額 152,329千円)		こども部こども育成課 こども育成班(23 - 6221)
財源内訳	国庫支出金 67,901千円、県支出金 9,333千円、一般財源 75,095千円	
支出内訳	3款3項5目 放課後児童健全育成費 / 消耗品費 5,541千円、医薬材料費 84千円、看板製作委託料 130千円、実施設計委託料 13,103千円、施設整備工事請負費 132,823千円、機械器具購入費 648千円	

留守家庭児童の放課後対策を推進するため、放課後児童クラブの整備を進めます。

- 新規
 放課後児童クラブ未設置の学区に児童育成センターを**新設**します。
 (常磐学区)
- 拡充
 待機児童が多く生じている学区に児童育成センターを**増設**します。
 (六ツ美北部・細川・北野学区)

▼参考：児童育成センター 受入定員推移



平成29年度整備後
200人
定員拡大予定



拡充	民間児童クラブ利用者育成料補助業務 〔予算額 12,489千円〕	こども部こども育成課 こども育成班(23 - 6221)
財源内訳	一般財源 12,489千円	
支出内訳	3款3項5目 放課後児童健全育成費 / 民間児童クラブ利用者育成料補助金 12,489千円	

公立の児童育成センターと民間の放課後児童クラブの利用者負担の格差を是正するため、育成料（利用料）の一部を補助しています。

児童育成センターの育成料減免に準じて、生活保護や児童扶養手当等を受けている世帯に対して補助を拡充します。



区 分	補助金額
1 生活保護を受けている世帯	育成料月額的全額
2 中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律による支援給付を受けている世帯	
3 児童扶養手当を受けている世帯	育成料月額の半額
4 その他の世帯	児童育成センター育成料 （月額7,000円）との差額 上限：1,800円/月

拡充

私立保育園園舎建替支援業務(予算額 58,624千円)

こども部保育課
管理班(23 - 6832)

財源内訳 国庫支出金 27,044千円、一般財源 31,580千円

支出内訳 3款3項2目 児童措置費 / 私立保育園施設耐久年数調査委託料 4,536千円、私立保育園園舎建替等事業費補助金 54,088千円

【業務概要】

私立保育園の健全な運営と、園児の保育環境向上を図るために、園舎整備補助と施設耐久年数調査を行います。

私立保育園施設耐久年数調査

○私立保育園(男川、矢作、美合、元能見、燕ヶ丘、岩津、みなみ)

計画概要・・・園舎の長寿命化を進めます。

平成29年度(7園分) ・建築士による施設耐久年数調査実施(屋根 外壁 便所 設備等)
・調査結果を基に長寿命化の工事計画案・資金計画の作成



私立保育園園舎建替等事業費補助

○美合保育園

計画概要・・・園舎の一部増改築に係る建設費に対して補助します。

平成29年度 園舎一部増改築工事
2年計画(平成28年度 実施設計、地質調査等実施済み)

園舎の概要

	旧	新
定 員	200人	230人
敷地面積	2,178㎡	2,178㎡
建物構造	木造平屋建	鉄骨造2階建
延床面積	1,192㎡	1,642㎡



山中保育園園舎建替業務(予算額 514,018千円) 山中保育園園舎建替業務 始め2業務		こども部保育課 総務施設班(23 - 6175)
財源内訳	市債 355,000千円、一般財源 159,018千円	
支出内訳	3款3項3目 保育園費 / 駐車場整理委託料 813千円、施設整備工事請負費 3,689千円 3款3項8目 保育園建設費 / 通信運搬費 492千円、通信設備架設料 342千円、家屋調査委託料 4,860千円、廃棄物処理委託料 486千円、 建物賃借料 1,271千円、園舎改築工事請負費 498,965千円 8款3項2目 道路維持費 / 道路整備工事請負費 3,100千円	

【業務概要】

安全で快適な環境で保育を行うために、
老朽化が著しい山中保育園の建替えを行っています。

11月末完成予定

【事業スケジュール】

平成 26 年度 道路等測量設計
 平成 27 年度 新園舎実施設計、道路拡幅工事
 平成 28 年度 園舎建替工事
 平成 29 年度 園舎建替工事、道路舗装補修工事

【新園舎の概要】

敷地面積 4,836.83 m²
 建物構造 鉄筋コンクリート造 一部木造 2 階建
 延床面積 約 1,390 m²
 所要室等 乳児室、保育室 6 室、遊戯室、多目的室
 職員室、給食室、便所、倉庫、園庭
 屋外プール、駐車場
 想定定員規模 170 人



(仮)南部乳児保育園整備業務(予算額 108,537千円) (仮)南部乳児保育園整備業務 始め 2 業務合算		こども部保育課 総務施設班(23 - 6175)
財源内訳	一般財源 108,537千円	
支出内訳	3款3項8目 保育園建設費 / 消耗品費 5,147千円、医薬材料費 89千円、園舎建設工事請負費 95,037千円、屋外施設整備工事請負費 440千円、 機械器具購入費 324千円 10款5項10目 市民センター費 / 施設整備工事請負費 7,500千円	

【業務概要】

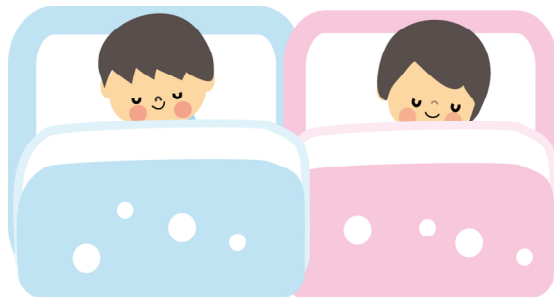
J R岡崎駅を中心とした南部地域の保育需要の増加に即応するため、南部市民センター分館敷地内に暫定的に3歳未満児専用の保育園を建設します。

【事業スケジュール】

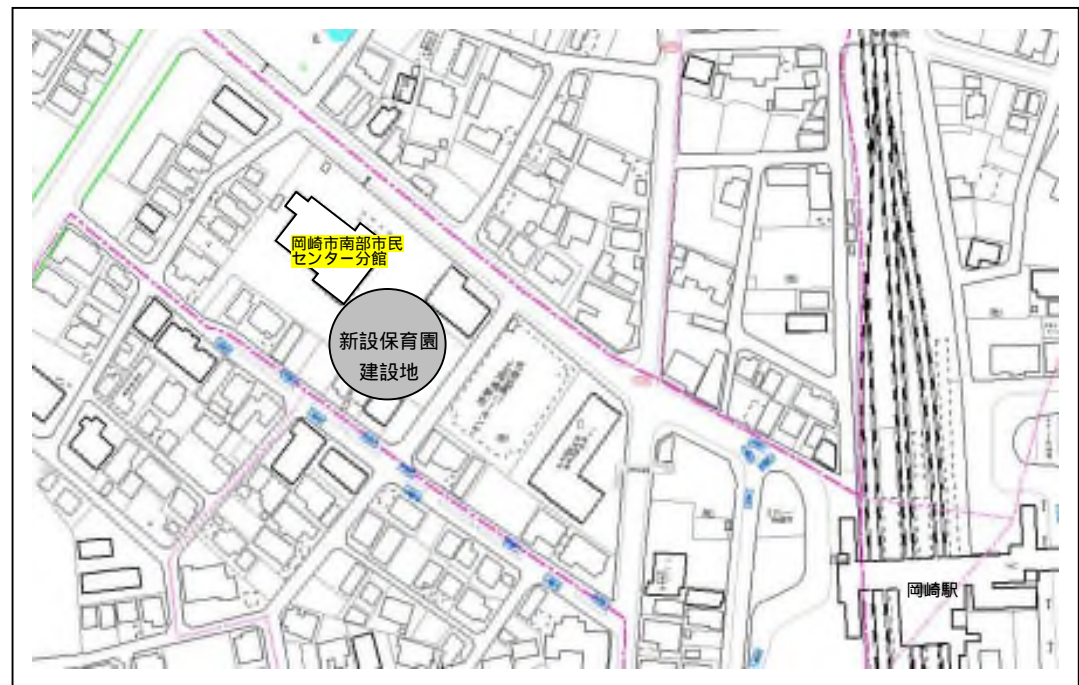
平成 28 年度 地質調査、実施設計
平成 29 年度 園舎建設工事、外構（敷地改修）工事
平成 30 年度 4月開園（予定）

【園舎の概要】

建物構造 軽量鉄骨造平屋建
延床面積 約 460 m²
定員 60 人（予定）



保育園位置図



**平成30年4月
開園予定**